

かかりつけ医と病院を結ぶ

# 東北中央病院 病診連携室だより

平成20年 9月 No.26

ホ-ムペ-ジ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

理念 「心温かい信頼の医療」 病院長 田中靖久



## 《 第1回 消化器疾患治療シンポジウム 》



山形大学医学部附属病院  
光学医療診療部長・准教授  
武田 弘明 先生



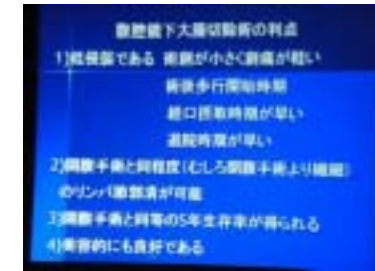
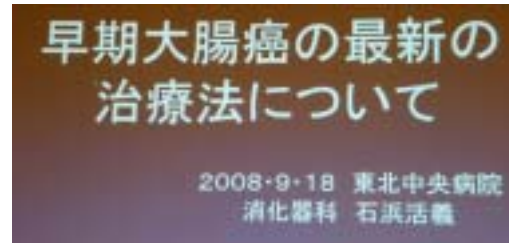
(総合司会)  
東北中央病院  
消化器科部長  
齋藤 秀樹 医師



病院長：田中靖久 副院長：齋藤善広

9月18日(木) ホテルメトロポリタン山形に於いて、消化器疾患治療の最先端を討論する会『第1回消化器疾患治療シンポジウム』を開催しました。日頃、大変お世話になっている関係医療機関の先生方に御参集頂き、盛大に開催されました。

御参集を賜りました先生方には、大変お忙しい中にもかかわらず多数の御参加を頂き、厚く御礼を申し上げます。また、このシンポジウム開催にあたり、山形大学理事(副学長)であり山形大学医学部消化器病態制御内科学分野教授の河田純男先生と光学医療診療部長の武田弘明先生には、多大なる御協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。



東北中央病院

消化器内科医長 石濱活義 医師

外科医長 浅沼 拓 医師

テ-マ 『大腸癌治療の最先端』

【1】生活習慣病としての大腸癌 - 疫学から予防まで -

山形大学医学部附属病院 光学医療診療部長・准教授 武田弘明 先生

【2】早期大腸癌の最新の治療 - 特に粘膜下層切開剥離術について -

東北中央病院 消化器内科医長 石濱活義 医師

【3】大腸癌の外科的治療の最前線 - 特に腹腔鏡下手術について -

東北中央病院 外科医長 浅沼 拓 医師



山形大学理事(副学長)  
山形大学医学部附属病院  
消化器病態制御内科学分野 教授 河田純男 先生

スペシャルアドバイザー - として座長を務めていただきました。



多数の先生方より質疑討論をいただきました。

近年、大腸癌での死亡率が高くなっているのが現状です。早期発見と早期治療が何よりも大切ですが、今回のシンポジウムを通して大腸癌治療の最先端を学ぶことができました。

今後も消化器疾患治療の技術向上と地域医療発展のため、このシンポジウムを継続する所存です。万一、該当する症例がありましたら、是非当院をご利用いただけると幸いに存じます。

今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

〒990-8510 山形市和合町3丁目2番5号  
公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室  
TEL(フリーダイヤル): 0120-703-995  
FAX(フリーダイヤル): 0120-168-990